

令和8年3月9日

梅坪台地域会議
会長 鈴木 重久 様

豊田市長 太田 稔彦

市への提言に対する回答について

令和8年2月3日付けで提言された下記内容について、令和8年度以降、地域会議からの意見を伺いながら、地域の皆様と連携して進めてまいります。

記

- 1 提言内容
「子どもの笑顔とともに人と人のつながりを育み未来へつなげる梅坪台」
- 2 市の回答について
別紙1のとおり
- 3 提言関係課
地域交流課、学校教育課

【問合せ】

豊田市地域交流課

電話：34-6629 FAX：35-4745

E-mail：chiikikouryu@city.toyota.aichi.jp

この文書は、公文書改善のため公印を省略しています。

梅坪台地域会議の提言に対する市の回答

提言内容 「子どもの笑顔とともに人と人のつながりを育み未来へつなげる梅坪台」

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">行政に求める支援</p>	<p>(1) 地域学校共働本部との連携・協力 円滑な事業運営と継続的な活動の推進のため、子どもたちや学校との連携・調整に精通した地域学校共働本部の支援をお願いしたい。</p> <p>(2) 公共施設等の活用支援 交流事業の実施にあたり、市内の公共施設使用料の減免や優先利用枠の設定、備品等の無料貸出などの支援をお願いしたい。</p> <p>(3) メディアへの PR、周知活動への協力 取組を広く周知するため、行政が持つ広報媒体や地域メディアとの連携を通じて、事業の PR や情報発信に協力いただきたい。これにより、地域住民への理解と参加促進を図る。</p> <p>(4) 事業実施に伴う財政的支援 交流事業などを実施するにあたり、必要経費の負担や助成制度の情報提供など、財政面での支援をお願いしたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちや学校との連携・調整において、地域学校共働本部の地域コーディネーターが必要な支援・協力を行います。 ・ 市内公共施設の利用に関する減免制度や優先利用枠の活用について、関係部署と調整を行います。 ・ 取組の周知において、市が保有する広報媒体の活用や地域メディアとの調整を行い、地域住民への情報発信と参加促進に協力します。 ・ 取組に必要な費用については、各種助成制度の情報提供を行うとともに、活用に向けた相談に応じます。また、地域課題解決事業の範囲内で財政的支援を行い、地域の主体的な取組を支えています。